

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
東北森林管理局長 年頭所感	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	

みどりの

Midori no Tohoku

東北

No.226

令和5年2023.1

林野庁 東北森林管理局

Tohoku National Forest Regional Office

日本三大樹氷の一つに数えられる「森吉山の樹氷」。
ゴンドラ山頂駅から歩くこと5分で、目の前に巨大な
樹氷群が現れます。

森吉山の樹氷（秋田県北秋田市）[提供：上小阿仁支署]

木の文化を支える森づくりを次世代へ

岩手南部森林管理署

当署管内の平泉地域には、中尊寺などの世界遺産で知られる神社仏閣が多く建立されております。平成21年には「平泉古事の森」を設定し、地元協議会及び教育機関と連携してヒバや広葉樹を植樹し、歴史的建造物の修復に必要となる大径木を育てる森づくりを通じて、次世代を担う地域の小学生へ木の文化やふるさとの森林について関心を持ってもらう機会を提供してきました。

今年度は、管内にある4小学校に出向いて「平泉古事の森」の学習や、平泉文化と森林の関わり、文化財に使用されている木材の特徴及び森林の機能などについて授業を通じて理解を深める活動を行いました。



樹種あてクイズ

授業の後は、校庭でノコギリを使って丸太切り体験や年輪を数えるなど、木に実際に触れることで木の文化継承への一助となることが期待されます。



丸太切り

「平泉古事の森」のヒバが歴史的建造物の修復等に利用できるまでには、まだまだ長い年月がかかりますが、この取組を通じて自然の大切さや、平泉文化と森林の関わりについて、次世代に繋げていく活動に取り組んでまいります。



年輪数え

市民憩いの場「風の松原」を守る

米代西部森林管理署

「風の松原」は東西幅1km、南北総延長14km、面積約760haの日本最大規模を誇る松林です。そのうち中核となる部分は国有林で342haを占め、飛砂や塩害を防ぐ海岸防災林としての役割を果たすことはもとより、市民の憩いの場として散策やジョギング等で多くの人々に利用されています。

風の松原では、平成11年に初めて松くい虫被害が確認されて以降、継続して予防防除に努めてきましたが、松くい虫被害は年度によって違いはあるものの、増減を繰り返しながら現在に至っています。

今年度も6月～7月にかけて薬剤を散布して予防防除を行い、9月～10月にかけては松くい虫の被害木調査を実施しました。被害は昨年度より減少する結果となりましたが、1月からは本格的に伐倒駆除（くん蒸処理）や特別伐倒駆除（破碎処理）を行います。

貴重な森林資源に被害をもたらす松くい虫に対しては、継続した対応が必要であり、粘り強く取り組むこととしています。



松くい虫被害木処理（破碎作業の様子）

当署は今後も地域住民を守る海岸防災林を維持する活動を継続しながら、市民に憩いの場を提供していきます。

豪雨による被害からの早期復旧

置賜森林管理署

令和4年8月の大雨は、55年前に未曾有の被害をもたらした羽越水害に匹敵する雨量となり、山形県置賜地方において、JR米坂線の鉄橋が崩落し、国道113号線の通行止めにより小国町が一時孤立化するなど、大きな被害をもたらしました。

当署では、東北森林管理局の災害対策本部と連携し、災害発生直後から、ヘリコプターを飛ばして大規模な崩壊がないか上空から調査を行う一方、地上では職員が悪路を歩いて調査を進めた結果、国有林野内では31路線124か所の林道施設、2か所の林地崩壊等の被害を確認しました。



山腹崩壊箇所（舟渡森林事務所管内）

現在、地域住民の安全・安心の確保や森林整備事業の再開に向けて、地元自治体等関係機関と緊密に連携を取りながら、被災した林道施設等の早期復旧に全力で取り組んでいるところです。

地球温暖化に伴って、雨の降り方がこれまでと

異なってきていると言われていています。今回以上の災害が発生しても、迅速かつ的確に対応できるように準備を整えてまいります。



チャーターによる現道復旧

インターンシップ実習生の受入れ

山形森林管理署最上支署

東北森林管理局では、大学（短期大学を含む）、大学院等の学生を対象としたインターンシップを募集しております。

今年度は、最上支署へも応募があり、9月12日～9月16日までの間、宇都宮大学大学院生1名を実習生として受入れ、林業全般に関わる業務と治山や土木事業などの工事箇所を中心に実習を実施しました。

植付作業の現場では、専用の容器によって育成した根鉢付きのコンテナ苗の検査と専用の器具を用いた植付作業を行いました。

また、立木の伐採現場では、高性能林業機械の作業状況と間伐後の林内状況を確認しました。

最終日には、当支署若手職員との意見交換会を実施しインターンシップを終了しました。

実習生からは、「以前よりも林野庁や森林管理署のイメージをつかむことができた」「これまで大学や大学院で学んできたことを生かしつつ、森林管理署の仕事を通して、知識や考えを深めていくことができると感じた」との感想をいただきました。

インターンシップについては、今後も可能な限り実施し、森林・林業行政を担う人材の育成に努めていきます。



立木の伐採状況を確認

低コストで壊れにくい林道をめざして

三陸北部森林管理署

森林施業を実行する際、重要なインフラの1つに「林道」の存在があります。広大な森林のなかに林道があることで森林へのアクセスが容易になり、木を伐って搬出後に運搬、そして、植林して保育する森林管理や森林調査を効率的に行うことができます。また、林道は迂回路としての機能もあり、東日本大震災で宮古市重茂地区の県道が津波により寸断された際には、当署の林道が地域住民の迂回路として利用されました。

このように重要な役割を担う林道ですが、今年11月に完成した三沢林道（田野畑村蝦夷森国有林内）は、当署で初めて砕石の代わりに「鉄鋼スラグ」を林道の路面に敷設する工法を採用しました。



鉄鋼スラグを敷き均しする様子

鉄鋼スラグは省資源、省エネルギーの観点から、砕石を敷設するより低コストに繋がるリサイクル材として、公共工事など様々な分野で活用されています。鉄鋼スラグの特性として長期にわたって硬化するため、砕石より降雨に洗い流される心配が少なく、走行による林道の損傷程度も低く、長持ちするため、施工後の維持費が抑えられるなどのメリットがあります。壊れにくくアスファルト舗装のように走行性に優れた林道に仕上がったとともに、有事の際の地域住民の道としても未永く活躍してくれることを期待しています。

森林環境教育・木育しませんか！

藤里森林生態系保全センター

当センターでは、白神山地の生態系保護や森林・林業の普及啓発を図るため、地方公共団体及び教育機関等からの要請を受け、センター研修棟を活用し、展示室で白神山地や森林の持つ役割などの説明をし、実習室で木育（木工クラフト等）を通じた森林環境教育に取り組んでいます。

今年のお組例としては、10月29日に開催された藤里町民祭に参加

し、倒伏した樹齡400年とされるブナ（通称400年ブナ）の写真や、白神山地の中・大型哺乳類調査のため設置したセ



研修棟展示室

ンサーカメラで撮影された動物の写真を展示したほか、缶バッチ製作と木の枝の人形“モックン”の製作体験を行いました。製作体験には20名ほどが参加し、鼻の向きや、目の位置など参加者の工夫による多様な“モックン”が製作されました。



モックン製作

前段で紹介した、当センターの展示室には、昔の林業の作業風景、樹木の標本、白神山地の巡視で撮影された鳥や草花など展示していま

す。実習室には木製机と木の枝や木の実などを用意し、木工クラフト体験も可能となっています。森林環境教育等のご希望がありましたら、当センターホームページに詳細が掲載されていますのでご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>



ドローンの有効な活用方法をPR

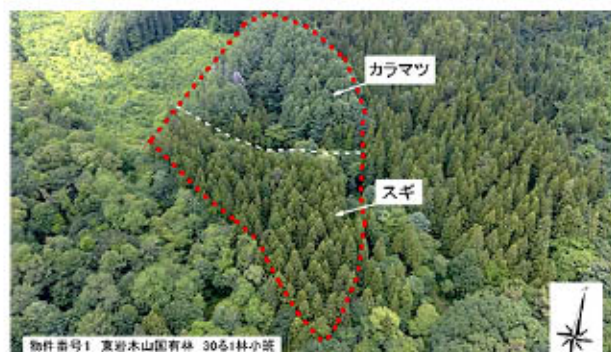
津軽森林管理署

国有林では、伐期を迎えた一定の区画（林班・林小班）の立木を入札により公売しており、その公告情報は各署のホームページに掲載しています。

当署では、立木の販売促進のため、青森森林管理署の取組を参考に、今年度から一部物件の現地をドローンによって撮影した画像で公開する取組を始めました。

通常、現地確認を希望する事業者には予め日時を決めて公売物件の現地案内を行っていますが、ドローン撮影画像の公開により、現地を見てみたい、入札に参加したいと興味を持っていただけるよう、手軽に公売物件を知っていただくことに力を入れています。

公開しているドローン撮影画像は、1回の公売につき2物件程度ですが、物件明細書からだけでは読み取れない樹種別の分布や隣接箇所の状況等の情報を付記する加工を施して公開し、伐採から搬出までの施業のイメージに役立てられるよう心掛けています。入札参加者からは「画像見たよ」、「参考になった」等の感想をいただき、少しずつ手ごたえを感じています。



令和4年7月の公売にあたり公開した画像

このように森林の状況を上空から撮影できるドローンは、民有林の施業集約化にも役立つことから、この取組を地域の会議等で紹介し、民有林でも活用を普及させていきたいと考えています。

優良材の高付加価値化の取組

三陸北部森林管理署久慈支署

森林には国土の保全、地球温暖化防止等の公益的機能があり、東北森林管理局では、その機能の発揮を重視した管理経営を進めつつ、木材の持続的かつ計画的な供給に努めています。

今年度からの取組として、地域材の価値の創造・向上を推進し、需要の拡大を図るため、一定の規格を満たした国有林高品質材のブランド化をはじめました。

当支署では、製品生産事業地において、天然林から出材されるアカマツ優良材の採材方法や適切な仕分けの徹底など採材時の注意点を林業事業者へ説明し、仕分けについては、岩手県森林組合連合会の協力を得ながら取り組みました。

今年度生産された丸太の中から、11月17日、岩手県森林組合連合会で開催された「秋季優良材展示即売会」にアカマツの優良材として、長級4m、径級36cm～44cmの丸太40本、約26m³を出材したところ、全量販売することができ有利販売に繋げることができました。



出材したアカマツ優良材

当支署は、今後も丁寧な採材と適切な仕分けにより国有林材の高付加価値化を強化し、天然林、国有林高品質材（㊦㊧）の南部アカマツや優良材の生産・販売に努め、貴重な資源を有効に活用し、木材業界や地域産業の活性化に貢献をしていきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

岩手県八幡平市

岩手北部森林管理署

八幡平市は、北東北のほぼ中心に位置し、秋田県、青森県との県境を有しています。十和田八幡平国立公園に指定される岩手山・八幡平をはじめとした名峰や、国内有数のスノーリゾートである安比高原など、自然美に富んだ景観が魅力です。

市の南西に鎮座する県最高峰の岩手山（標高2,038m）は、東尾根の美しい裾野と西尾根の険しい稜線が織りなす独特の山容から「南部片富士」の名で知られています。



岩手山麓に広がる焼走り熔岩流

山麓に広がる焼走り熔岩流は、享保四年の噴火以来、ほとんど樹木が生育せずに現存している稀少な熔岩流で、国の特別天然記念物に指定されています。

岩手山から八幡平へと連なる山々は奥羽山脈を形成し、裏岩手連峰とも呼ばれています。複式火



紅葉の三ツ石山から見る裏岩手連峰

山の景観を望む鬼ヶ城、紅葉の三ツ石山や松川渓谷（松川玄武岩）など、火山の造形美と雲上の絶景を楽しむことができます。

秋田県境に向かう八幡平アスピーテライン・八幡平樹海ラインからは、日本百名山の八幡平に容易にアクセスすることができ、八幡沼や、八幡平ドラゴンアイとして知られる鏡沼（秋田県）など人気のスポットが多くの観光客の目を楽しませてくれます。



展望台から望む八幡沼

市の基幹産業は、気候や地形など自然の恵みを生かした農業や畜産業となっており、米やホウレンソウなど多くの農産物が生産されています。

中でも「りんどう」は、栽培に適した冷涼な気候や土壌環境、日照条件が特徴的な「深い青」の発色を生み出し、国内生産額日本一、国内需要3割以上を占める産地となっています。その品質は海外でも高く評価されています。



八幡平市オリジナル品種「安代の輝き」

お問合せ先：八幡平市商工観光課 TEL：0195-74-2111 八幡平市観光協会 TEL：0195-78-3500

国有林野所在市町村の魅力紹介

秋田県仙北市

秋田森林管理署

仙北市は秋田県の東側に位置し、中央に水深日本一の田沢湖があり、東に駒ヶ岳、南に仙北平野を望みます。豊かな自然と長い歴史を持つ東北有数の観光地として、訪れる人を四季折々に違った表情で出迎えてくれます。

◎江戸時代より城下町として栄え、現在は重要伝統的建造物群保存地区にも選定されている角館。春、この風情ある町並みに咲き乱れるのは、武家屋敷の庭に植えられた何本ものシダレザクラです。中には樹齢300年を超えるものもあり、当時の人々が愛した景色を今に伝えています。



武家屋敷通りのシダレザクラ

◎ダイナミックな景観が魅力的な秋田駒ヶ岳。



秋田駒ヶ岳、大焼砂より田沢湖を望む景色

夏でも雪の残る山頂付近は「秋田駒ヶ岳高山植物帯」として国の天然記念物に指定されており、数百種もの花々が自生しています。

◎秋になると、仙北市の山々は一面美しい紅葉に染め上げられます。黒湯温泉や抱返り溪谷をはじめ仙北市には紅葉スポットが数多くあり、色とりどりの紅葉に抱かれるような景色を楽しむことができます。



黒湯温泉の紅葉

◎乳頭山の山麓には鶴の湯、黒湯をはじめとする七つの名湯が楽しめる乳頭温泉郷があり、趣ある茅葺き屋根と乳白色の露天風呂が魅力の鶴の湯温泉は、寛永15年（1638年）に二代目秋田藩主・佐竹義隆公が湯治に訪れたという記録も残る歴史ある温泉です。冬の真っ白な雪と湯けむりに包まれたその姿は北国の秘湯のムードを思う存分味わわせてくれます。



鶴の湯温泉の冬景色

令和5年 東北森林管理局長 年頭所感



東北森林管理局長
宮澤 俊輔

について、職員一同しっかり取り組んでまいり所存です。

森林づくりにつきましては、林野庁が進めている「新しい林業」に、東北森林管理局として新たな取組を引き続き展開していくこととしております。

まず、造林につきましては、「筋刈の導入による下刈り区域面積の縮減」及び「大苗の導入による下刈り回数の低減」を通じて、下刈りの低コスト化を図る考えです。

さらに、「ユリノキの植栽」に新たに取り組むこととしており、東北地方のような寒冷地に適した早生樹を活用した施業の確立を目指していく考えです。ユリノキは、国内外で家具材などに昔から使用されている樹種であり、安定した育成方法を確立することができれば、比較的容易に市場に受け入れられるのではないかと期待しております。

次に、素材生産につきましては、「日報の作成と活用」を通じて、作業のムダや無理を事業者が自ら発見し、改善を行い、生産性の向上を図る考えです。

加えて、「造材の手際の向上」及び「旧搬出路の有効活用」を通じて、素材生産を担う事業者が、規模の大小を問わずより効率的に事業を実行できるよう図る考えです。

また、木づかいにつきましては、システム販売、

樹木採取権、立木・素材の計画的販売等を組み合わせながら、地域における伐採・再造林の意欲が維持されるとともに、木材産業の収益性も確保されるよう、価格・量・時期に気を配りつつ適切な木材供給を引き続き図る考えです。

さらに、令和4年度より開始した東北局独自の高品質ブランド材の供給を、地域の森林・林業・木材産業はもとより、役物の実需者である伝統建築、家具・建具、突板等の業界の声も聴きながら、適切な供給を図る考えです。

加えて、庁舎建築や物品購入等においても、製造エネルギーが少なく、炭素を長期間にわたって固定する木材の利活用を積極的に図る考えです。

一方、自然災害につきましては、台風や前線等に起因する災害が全国各地で多発し、昨年夏の豪雨では青森県を始め東北各県で大きな被害が発生しました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。当局としましては、速やかな災害復旧に取り組んでまいります。また、国民の安全・安心な暮らしを守るため、国有林の災害対策はもとより、民有林の支援も行うなど各県や市町村、関係業界等と連携して、災害に強い健全な森林づくりによる国土強靱化をより一層推進してまいります。

わが国の森林は、国土保全、地球温暖化防止、生物多様性保全、保健休養、林産物供給等の多面的機能を有しており、国民生活及び国民経済に大きな役割を果たしています。その中で国有林という資源を、地域に活かしていくことが大切だと考えております。当局においては、皆様の声に耳を傾けながら様々な取組を進めてまいりますので、本年も引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様一人一人にとって、実り多き素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年に当たってのご挨拶とさせていただきます。

「森林共同施業団地」について

日本では、50年生を超え利用期に達した人工林面積が過半を占めます。「伐って、使って、植えて、育てる」ことにより、木材の利用を拡大しつつ、成長が旺盛な若い森林を造成していくことは地球温暖化防止にもつながる取組であり、森林整備のさらなる推進が望まれます。

国有林では、森林整備推進の一方策として、「森林共同施業団地」の設定を推進しています。これは民有林と国有林が連携することで地域の森林整備の効率化や森林経営管理制度の導入が図られる区域において、森林管理署等と地方公共団体等との間で「森林整備推進協定」を締結し、間伐等の森林施業を連携して行うことを目的とした制度です。

令和4年11月末現在、東北森林管理局管内では35か所の団地を設定しており、国有林野と民有林野を連結する効率的な路網の整備、計画的な間伐、現地検討会の開催等を通じた民有林への技術普及に取り組んでいます。本取組を通じ、国産材の安定供給体制の構築に資するよう、協定締結者と連携し、路網や土場の共同利用による事業のコストダウンや民有林材と国有林材の協調出荷等に取り組んでまいります。



ご関心のある方は、東北森林管理局技術普及課
(TEL:018-836-2214)までお問合せ下さい。

エリートツリー交配家系試験地の設定
—岩手県気仙郡住田町との共同研究—

1. はじめに

東北育種場では^{せい えい じゆ}精英樹の次世代化を進めており、令和4年5月、この取組のための試験地を岩手県住田町との共同研究として設定しました。住田町は、全国でも最大規模を誇る町有林を有し、「森林・林業日本一のまちづくり」の計画を策定するなど、林業の盛んなことで有名な町です。



育種場と町が共同で植栽

2. 試験地の概要

植栽した苗木は、第2世代精英樹であるエリートツリーを母樹及び花粉親とする12家系の交配苗です。試験地は、各家系を試験地内にランダムに植栽する設計で植栽密度は2,500本/ha、面積は合計で約0.23haです。また、対照として第1世代精英樹の採種園で採取した種子による苗木も植栽しています。

3. 今後

11月には町によるシカ食害防止用ネットの設置が行われました。今後は、定期的に成長調査を行って植栽家系やその母樹・花粉親の遺伝的なパフォーマンスを評価する予定です。植栽した家系の中からさらに優れた特性をもつ個体が得られた場合は、新たなエリートツリー（第3世代精英樹）として選抜します。また、本試験地は、試験エリアの隣に各家系を列状に植栽した展示林エリアを設けており、この展示効果によってエリートツリーの普及が進むことを期待しています。



シカ食害防止用ネットの設置

ご関心のある方は、森林総合研究所 林木育種センター
東北育種場(019-688-4518)までお問合せ下さい。

地域のこの人

魅力は『地域貢献』

山形県国有林造林生産請負業連絡協議会
山形地方森林組合 森 陽祐さん

当組合は、山形市・上山市・山辺町・中山町の2市2町の山林で森林整備全般の事業を行っております。

私は入社して9年目となり、事業を管理する立場で業務に当たっております。途中で採用され、まったく別の業界にいた私にとって刺激的な経験とたくさんの楽しみにあふれた毎日を送ることができております。

私の業務内容は、打合せ、現場の段取り、写真管理など多岐にわたります。現場あつての仕事ですので毎日現場に出向き、時には伐採作業などに従事することもあります。森林所有者との打ち合わせや発注者である官公庁の職員との打ち合わせなどが多く、どちらかという人付き合いの能力が問われる職種です。森林所有者への提案業務や、補助金申請の際の市町村や県の担当者との打ち合わせも多いため、人と関わるのが好きな方に是非おすすめできる職業だと思います。



測量作業の様子

このように多くの人と関わりながら、山林を整備して守っていける仕事であり、この仕事が地域の林業活性化の役に立っていると実感しています。

そんな魅力にあふれた林業。林業を通して地域に貢献できる仕事を一緒にしていきましょう。

様々な出会いが魅力の国有林管理の仕事

三陸中部森林管理署大槌森林事務所
首席森林官 高橋 博孝さん

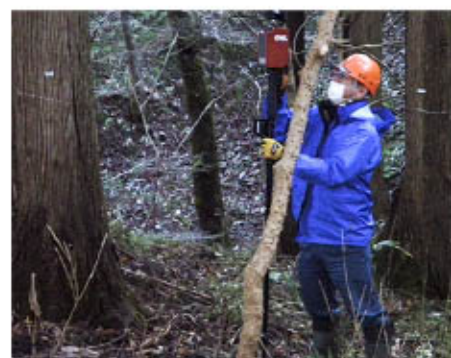
当事務所は、岩手県の沿岸南部に位置する大槌町と釜石市の一部の国有林を管理しています。

管内は三陸沿岸特有の急峻な森林が多く、生産や造林の監督、境界巡視、シカ対策などの現場作業には体力的にキツイ面もありますが、山を登った先で見る三陸海岸を望む景色は観光ガイドブックなどに掲載されていない絶景スポットに出会うことも多くあり、それが国有林を管理する職場の醍醐味でもあると思います。

また、自治体と森林管理署が連携した地域のイベントも開催しています。釜石市の世界遺産「橋野鉄鉱山」では、例年、「橋野高炉稼働時代の森づくり育樹祭」を釜石市と共催し、森林官が技術指導を行って市民参加の森林整備（枝打ち作業）を実施しているほか、大槌町の「おおつち産業まつり」では「木工教室」を開催し、本棚やイスを組み立てる子供たちの作業補助を行うなど森林官として地元と密着した取り組みも行っています。

東北森林管理局は、東北5県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県）の国有林を管轄しており、各森林管理署・支署、各森林事務所で人工林の植栽や間伐などの森林整備を推進しています。いろいろな地域で働く機会があり、各地域の方々と出会い、その地域の歴史や食文化に触れられるのも国有林の職場の特色でもあります。

このような魅力ある公務員の仕事を一緒にしてみませんか。



収穫調査の様子

1月中旬

網張の森雪上ハイキング

1月7日(土)～3月26日(日)
毎週土日開催、真白な雪の上を歩くスノーシューウォーク
(岩手県/網張ビジターセンター)

森吉山 ゴンドラで行く樹氷鑑賞

1月7日(土)～3月5日(日)
冬の神秘・樹氷の鑑賞、2月の土日祝日には夜の樹氷鑑賞会あり
(秋田県/森吉山阿仁スキー場)

冬キャンプ

1月7日(土)～3月中旬
白銀の世界が広がる、冬にしか味わうことが出来ない体験です
(秋田県/北欧の杜公園)

第36回かくだどんと祭裸参り

1月14日(土)
約2時間をかけて参拝をする県内随一過酷と言われる裸参り
(宮城県/かくだどんと祭裸参り実行委員会)

この時期しか歩けない!

1月15日(日)
冬の鞍掛山麓探検スノーシューウォーク
(岩手県/網張ビジターセンター)

樹氷ライトアップ

～2月27日(月)
アイスモンスターと呼ばれる蔵王の樹氷を鑑賞
(山形県/蔵王ロープウェイ)

津軽鉄道・ストーブ列車

～3月31日(金)
ダルマストーブで暖まりながら、地吹雪など雪国の景色を堪能
(青森県/津軽鉄道)

遠野と平泉・平泉時代の遺跡を探る

～3月31日(金)
遠野と奥州藤原氏に関連した考古資料を展示しています
(岩手県/遠野まちなか・ドキ・土器館)

1月下旬

宮古真鱈まつり

1月22日(日)
本州屈指の水揚げを誇る「宮古の真鱈」を堪能することが出来ます
(岩手県/宮古市)

七滝氷瀑スノーシューツアー

1月22日(日)・2月12日(日)
落差30mの氷瀑と化す七滝をスノーシューで目指します
(岩手県/八幡平市観光協会)

比内とりの市

1月28日(土)～1月29日(日)
人間比内鶏詠唱大会や比内地鶏千羽焼きのイベントが行われます
(秋田県/大館市)

満喫!蔵王の冬

1月28日(土)～1月29日(日)
スノートレッキング、雪遊び、スノーキャンドル等
(宮城県/宮城県蔵王自然の家)

弥治郎こけし村の雛の宴展

1月28日(土)～3月5日(日)
全国の工人が製作した木地びなを多数展示
(宮城県/弥治郎こけし村)

雪の能 まつやま大寒能

1月28日(土)
能関係者の追悼供養として小雪が舞う静寂の中で上演されます
(山形県/酒田市)

肘折幻想雪回廊

1月28日(土)～2月18日(土)
毎週土曜、豪雪地帯の肘折地区で雪壁に幻想的な明かりを灯します
(山形県/大蔵村)

浅虫温泉スノーハイキング

1月中旬～2月下旬(雪の状況で決定)
スノーシューを履いて公園の中をトレッキングしよう!
(青森県/浅虫温泉観光協会)

2月上旬

冬の奥入瀬 ネイチャーガイドツアー

～2月26日(日)
氷瀑や氷柱、奥入瀬の冬景色をネイチャーガイドと一緒に巡ります
(青森県/十和田奥入瀬観光機構)

白神山地世界遺産地域の管理に関する懇談会

2月2日(木)
白神の管理に関して地域の住民や団体等との懇談会を開催
(青森県/西目屋自然保護官事務所)

あおもり雪灯りまつり

2月3日(金)～2月5日(日)
和紙で作った約500個の雪だるまで街を彩ります
(青森県/ねぶたの家 ワ・ラッセ)

えぼし雪上花火大会

2月4日(土)
約1,000発の花火とインストラクターによるたいまつ滑走
(宮城県/みやぎ蔵王えぼしリゾート)

雪だるま・雪像コンテスト

2月5日(日)
七ヶ宿の街道を彩る冬の風物詩、個性豊かな雪だるまが町全体に
(宮城県/七ヶ宿町観光協会)

日本海寒鱈まつり

2月5日(日)
鶴岡の冬の味覚「寒鱈汁(どんがら汁)」を味わうイベント
(山形県/鶴岡市)

上桧木内の紙風船上げ

2月10日(金)
仙北市指定無形民俗文化財、灯火をつけた紙風船が夜空に舞います
(秋田県/仙北市)

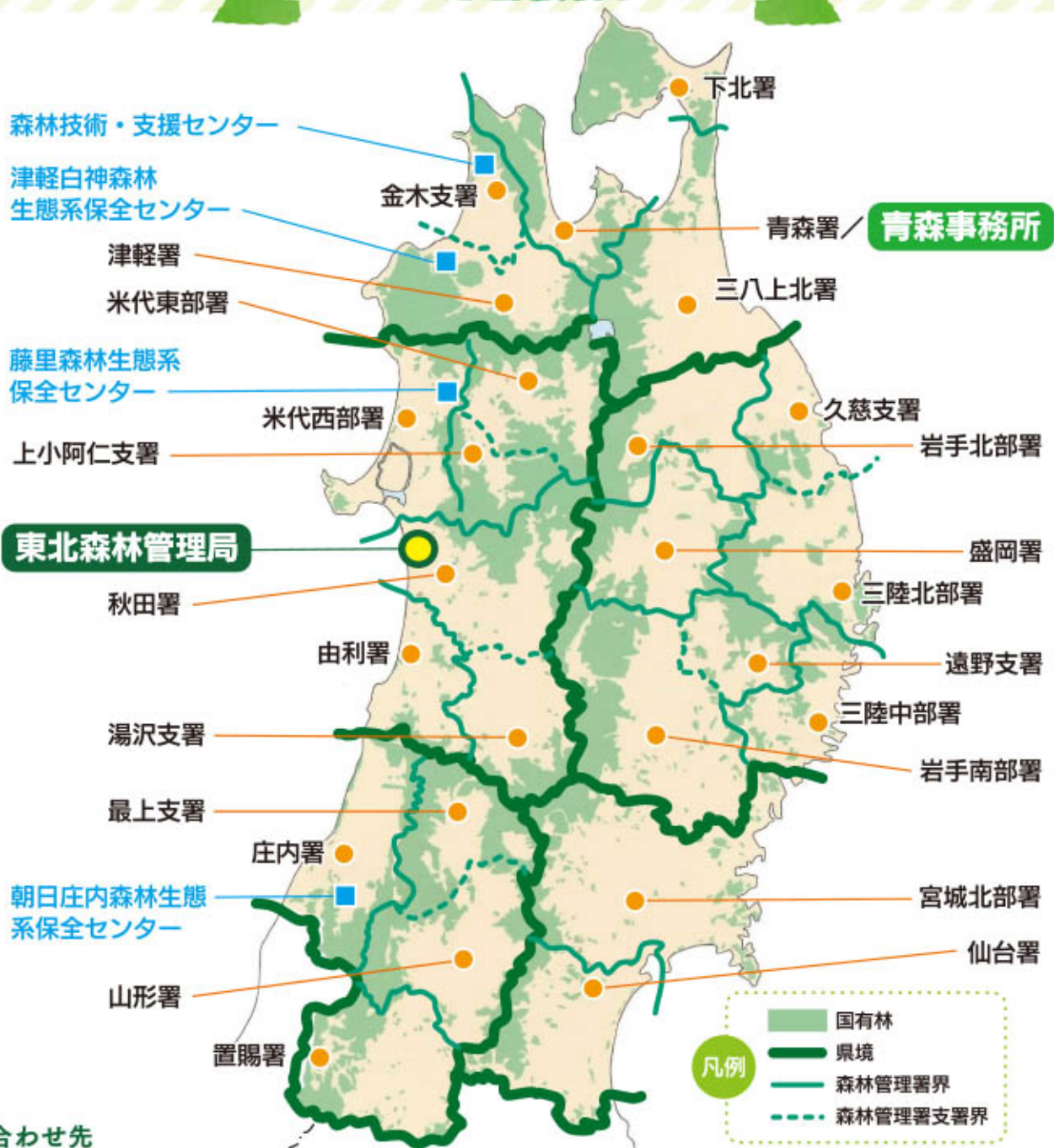
大湯温泉雪まつり

2月10日(金)～2月11日(土)
かまくらと大小の雪像が並び花火大会も行われます
(秋田県/鹿角市)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



問い合わせ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中込3-23	☎0186-50-6130			
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511			
三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署		秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311				
津軽白神センター	西津軽郡大野川町大字瀬戸町字東阿野野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署		湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164				
岩手県	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	山形県	藤里センター	山本郡藤里町藤里字大関湊24-3	☎0185-79-1003
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331		山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川1200-11	☎0233-62-2122		置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	朝日庄内森林生態系保全センター	朝日市下名川字落合3	☎0235-58-1730				
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161							

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.226 ●発行日/令和5年1月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために製材材を積極的に使用しています。